

主なごみ種別の増減について①

家庭系焼却ごみ原単位推移
(1人1日あたりの家庭系焼却ごみ量の推移)

● 平均原単位

	上期 (4～9月)		下期 (10～3月)		合計	
	量 (g/人・日)	対前年 同時期比率	量 (g/人・日)	対前年 同時期比率	量 (g/人・日)	対前年 同時期比率
R4	384	▲ 3.0%	365	▲ 1.6%	375	▲ 2.1%
R5	359	▲ 6.5%	347	▲ 4.9%	353	▲ 6.0%
R6	356	▲ 0.8%	337	▲ 2.9%	347	▲ 1.7%

R4からR6の
減少率
▲7.6%

主なごみ種別の増減について②

プラスチック製容器類、古紙類の排出量推移

プラスチック製容器類

	上期 (4～9月)		下期 (10～3月)		合計	
	量(t)	対前年 同時期比率	量(t)	対前年 同時期比率	量(t)	対前年 同時期比率
R4	513.06	▲ 3.08%	502.16	▲ 1.08%	1,015.22	▲ 2.10%
R5	510.90	▲ 0.42%	513.55	2.27%	1,024.45	0.91%
R6	530.61	3.86%	506.72	▲ 1.33%	1,037.33	1.26%

R4からR6の増加率
2.18%

古紙類

	上期 (4～9月)		下期 (10～3月)		合計	
	量(t)	対前年 同時期比率	量(t)	対前年 同時期比率	量(t)	対前年 同時期比率
R4	625.59	▲ 1.08%	607.63	▲ 2.04%	1,233.22	▲ 1.56%
R5	614.81	▲ 1.72%	738.39	21.52%	1,353.20	9.73%
R6	719.29	16.99%	742.38	0.54%	1,461.67	8.02%

R4からR6の増加率
18.52%

令和5年10月の焼却ごみ袋有料化および古紙類収集日の統合後に、プラスチック製容器類と古紙類の排出量が増えており、分別の意識が働いていると考えられます。